



田原市・豊橋市 上下水道指定工事店  
SUGITETSU  
株式会社スギテツ

# Sugitetsu Letter

スギテツレター

# 34

2021年10月発行

いつもお世話になります。♪  
スギテツレター、  
好評いただいております♪

## 菜の花さくらまつり の準備始まっています

記事: 杉浦/代表

毎年恒例となっているロータリークラブ主催の「菜の花さくらまつり」  
来年2月16日の開催を目指して、今から準備に取り掛かっています。昨年まで  
は人力だけの芳刈り作業でしたが、あまりの大変さに今年は機械投入 🚗  
綺麗になったあとは菜の花の種まきです 😊



この中洲に生えた  
芳刈り作業がいちばん大変!



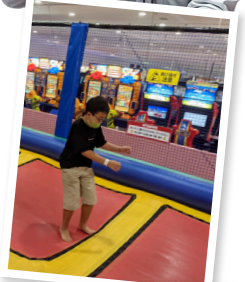
お昼は「与加楼」さんのお弁当。旨し!!



## スポッチャ

記事: 杉浦/代表

久しぶりの三男坊とのお出かけも、  
生憎の天気にも 🌧️ 良い機会なので、  
初めて豊橋のROUND1にある  
スポッチャに行ってみました!  
ボーリングや卓球、テニス、ゲーム機  
などが定額で楽しめます 😊  
雨だと屋上は閉鎖されて  
少し割高感はあるものの、  
体も動かしながら  
一日遊べて、息子には  
大好評でした ♪



「あんまりお腹減ってないって  
言いながら大盛り焼きそば  
ほとんど食べられたし 😊



## 古くなった水道管を撤去しています。

先日行った送水管の新設に伴い、古くなった送水管  
の撤去を行っています!

長さが6m直径が527mmとかなりの大きさのため、

撤去作業は安全第一で慎重に行っています 🙇

撤去を行っている管は

昭和52年に布設された物で、

年数では僕の大先輩にあたります 😊

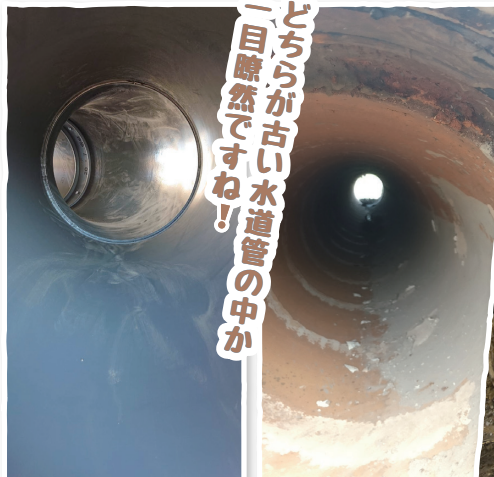
40年以上もの間、安心安全な水を

供給してくれたことに感謝し

撤去作業を行っていきたいと思います。



記事:  
福井/工事部



どちらが古い水道管の中か  
一目瞭然ですね!



撤去した  
水道管です。  
今までありがた  
ございましたら  
どう



## カラダのメンテナンスできてますか？

「天高く馬肥ゆる秋」 抜けるような空の青 秋風にそよぐ秋桜の花 焼けつくような暑い夏が過ぎ、待ちわびた秋到来ですね 😊  
食べ物もおいしい季節になりましたが、それと同時に夏の疲れも出やすい時期です 🌧️ 弊社には、毎朝ラジオ体操をしてから朝礼を行うというルーティーンがあります。実はこのラジオ体操、社員の発案から生まれたものなんです！とても良い提案ですよ 😊  
年に一度の健康診断と、毎朝のラジオ体操、健康管理は欠かせません。健康診断を受けて早めの身体のメンテナンスを行うことが大切です。社員も健康を意識してスポーツジム、バレーボール、ウォーキング、ゴルフ、エアロビ、と自分に合った体調管理を行っているそうです 🏃

仕事も大切ですが健康であることが一番ですよ!! 元気な体で皆様に良いサービスをお届けしたいと思っています 😊

記事: 杉浦 / 総務部



## 「スズヒロ」田原にオープン!



購入されるなら「塩」か「タレ」をオススメします★

持ち帰り唐揚げの専門店「スズヒロ」が田原(小僧寿し跡地)にオープンしました。さっそく食べてみましたがお、自分には味が濃すぎ 🌧️ 醤油味は特にです 😊



記事: 杉浦 / 代表

## 田原市に温泉!?



みなさん、田原市に温泉を作っているのを知っていますか? 😊 ポンプを利用して地下600mから汲み上げます。本年度に設備を設置して来年度より運用する予定です。一般の方も温泉の自動販売機にて購入できるようにする計画だそうです。

どんな温泉かとても楽しみですね 🎵

記事: 杉浦 / 住設部



## 家族の健康を守る高断熱の家!

今回は高断熱住宅のメリットその①についてお伝えします!

### 『温度差がないからヒートショックの心配も無用!』

これから寒い季節になりますね 😞 急激に血圧が変動、失神や心筋梗塞、脳梗塞などを起こす『ヒートショック』。年間ですらなんと1万人以上の方が亡くなっています。交通事故の3倍の死亡数なのです 😱

### 渥美半島は温暖だから大丈夫?

このヒートショック、実は寒い地域より暖かい地域の方が多のです。

寒い北海道より、ここ愛知県の方が多いですよ!(°Д°)

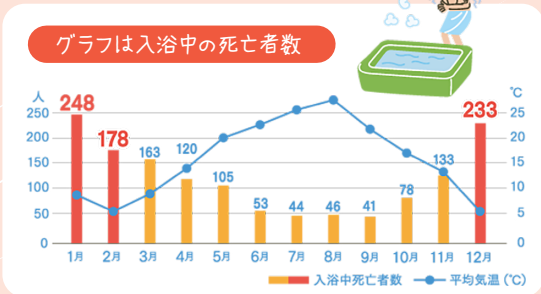
高断熱住宅なら、家全体が一定の温度に保たれやすいので、ヒートショックのリスクを大幅に下げられます。

### エースホームの家づくりは『高断熱・省エネ』

外気の影響を受けにくい高断熱住宅なら夏の暑い日も、冬の寒い日も、一年中快適に暮らせます 😊  
興味のある方はお気軽にお声かけください。



記事: 鈴木 / 住宅事業部



それでは今回はこのように、次号からも楽しんで発行してまいります。

